

明治時代 不平等条約改正の流れ

【解説】 歴史の流れ 教科書の重要キーワードをチェックした後、次のページへ！

1858 不平等条約のきっかけ 日米修好通商条約 を結ぶ・・・江戸幕府の大老井伊直弼がアメリカ総領事ハリスと結ぶ

関税自主権 がない・・・輸入品に対して自由に税をかけられない

領事裁判権 を認める・・・外国人の犯罪を日本人が裁けない

明治時代に入って 岩倉遣欧使節団 ... 欧米の文化を取り入れ、条約を改正するために視察

1886 不平等条約を見直すきっかけ ノルマントン号事件 ... 領事裁判権を認めていたため、イギリスの船長は軽い罪

1894 領事裁判権の撤廃 ... 日清戦争直前に日英通商航海条約を結ぶ。

むつむねみつ
外務大臣陸奥宗光



1894 日清戦争 (領事裁判権の撤廃と同じ年号)

1904 日露戦争

1911 ③ 関税自主権の回復 ... 外務大臣 こむらじゅたろう 小村寿太郎。不平等条約はすべて改正される

【教科書の重要語句】《一問一答》問題文ごと暗記しよう！

- ① 1886年に_____事件がおり、不平等条約改正を求める声が高まった。 ① _____
- ② この事件で問題になったのは、外国に_____を認めていたことである。 ② _____
- ③ 1894年、日本はイギリスと日英通商航海条約を結び、_____に成功した。 ③ _____
- ④ 1911年、外相こむらじゅたろう小村寿太郎は_____に成功し、不平等条約はすべて改正された。 ④ _____
- ⑤ 領事裁判権の撤廃に成功した人物と、関税自主権の回復に成功した人物をそれぞれ順にこたえなさい。 ⑤ _____

【解答】

- ① 1886年に_____事件がおり、不平等条約改正を求める声が高まった。 ① ノルマントン号
- ② この事件で問題になったのは、外国に_____を認めていたことである。 ② 領事裁判権
- ③ 1894年、日本はイギリスと日英通商航海条約を結び、_____に成功した。 ③ 領事裁判権の撤廃
- ④ 1911年、外相こむらじゅたろう小村寿太郎は_____に成功し、不平等条約はすべて改正された。 ④ 関税自主権の回復
- ⑤ 領事裁判権の撤廃に成功した人物と、関税自主権の回復に成功した人物をそれぞれ順にこたえなさい。 ⑤ むつむねみつ
陸奥宗光

こむらじゅたろう
小村寿太郎